

令和 5 年 4 月 28 日  
気象庁大気海洋部

## 配信資料に関する技術情報第 612 号

～2週間気温予報資料、3か月予報資料及び暖・寒候期予報資料の一部変更について～  
(配信資料に関する技術情報 No. 509, 559, 574、配信資料に関する仕様 No. 20110, 20112 関連)

### 概要

気象庁は、2週間気温予報資料、3か月予報資料及び暖・寒候期予報資料において空間パターンを用いた指数の予測を提供しています。

この度、これらの資料の指数計算に用いる空間パターンを変更します。

### 1 変更日

2週間気温予報資料は令和5年5月31日(日本時間)、3か月予報資料は令和5年6月、暖・寒候期予報資料は令和5年9月に配信する資料から変更します。

### 2 資料変更の詳細

2週間気温予報資料に掲載しているユーラシアパターン指数、3か月予報資料及び暖・寒候期予報資料に掲載している500hPa高度第1、第2、第3主成分は、気象庁第2次長期再解析(JRA-55)による偏差の空間パターンを利用して解析・予測を実施してきました。この度、気象庁第3次長期再解析(JRA-3Q)による偏差の空間パターンの、2週間気温予報資料、3か月予報資料及び暖・寒候期予報資料への利用の準備が整いましたので、この新しい偏差の空間パターンの利用を開始します。

### 3 変更対象の資料名等

この度、変更する資料名、ファイル名及び内容は以下のとおりです。

資料名(要素)	ファイル名	内容
2週間気温予報資料(4) (各種時系列)	Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_JCIfcvx24_JCP2048x2803_image.png	ユーラシアパターン指数
3か月予報資料(8) (北半球 高偏差確率・ヒストグラム)	Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_JCIfcvx48_JCP(#.#x#.#.#)_image.png	500hPa 高度第1主成分、500hPa 高度第2主成分、500hPa 高度第3主成分(いずれもヒストグラム)
3か月予報資料(9) (各種指数類時系列図)	Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_JCIfcvx49_JCP(#.#x#.#.#)_image.png	500hPa 高度第1主成分、500hPa 高度第2主成分

		成分（いずれも時系列）
暖・寒候期予報資料（3） （北半球 高偏差確率・ヒストグラム・各種時系列図）	Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmmss_MET_CHT_JCIfcxx62_JCP(#.#x#.#.#)_image.png	500hPa 高度第1主成分、500hPa 高度第2主成分（以上、ヒストグラム及び時系列） 500hPa 高度第3主成分（ヒストグラム）

※ yyyyMMddhhmmss は初期時刻の年月日時分秒を UTC（世界協定時）で示す。

※ (#.#x#.#.#)は、図の横×縦の画素数（ピクセル）を示す。（例：2048x2803）

#### 4 空間パターン

JRA-3Q の 1948～2021 年期間（ただし、2013 年 5 月～2021 年 12 月は暫定値）を利用して求めた、各資料の空間パターンの空間分布を別紙に示します。

#### 5 2 週間気温予報資料の仕様

JRA-55 解析値より求めたユーラシアパターン指数の空間パターンは「平成 30 年度季節予報研修テキスト」第 2.4 節に掲載しておりましたが、2 週間気温予報資料の仕様（配信資料に関する仕様 No. 20110）の解説に、本技術情報別紙の JRA-3Q 解析値より求めたユーラシアパターン指数の空間パターンの図を（3）にて追加掲載します。

#### 6 3 か月予報資料及び暖・寒候期予報資料の仕様

3 か月予報資料及び暖・寒候期予報資料の仕様（配信資料に関する仕様 No. 20112）の別紙の図を、本技術情報別紙の 500hPa 高度主成分の空間パターン図に変更します。

#### 7 今後の予定

JRA-3Q 空間パターンは今後、確定値を利用した空間パターンに変更する予定です。具体的な変更日時や空間パターンは、決まり次第お知らせします。

以上

(別紙)

2週間気温予報資料に参照するユーラシアパターン指数の空間パターンは、下図のとおりです。

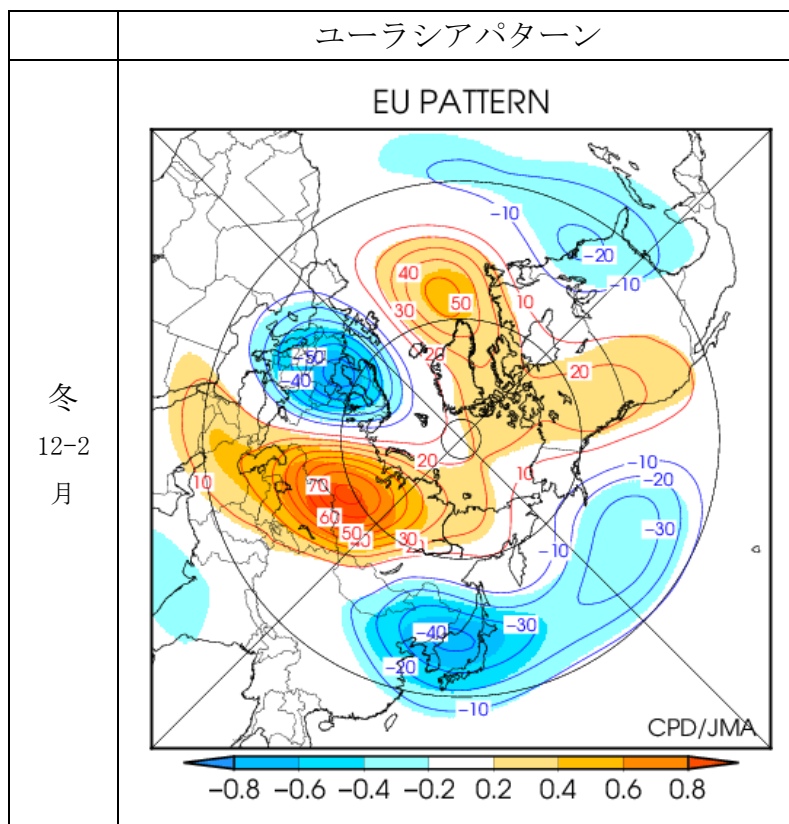


図 JRA-3Q 解析値 (期間 : 1948~2021 年) より求めたユーラシアパターン指数の空間パターン

3か月予報資料及び暖・寒候期予報資料に参照する500hPa高度主成分の空間パターンは、下図のとおりです。

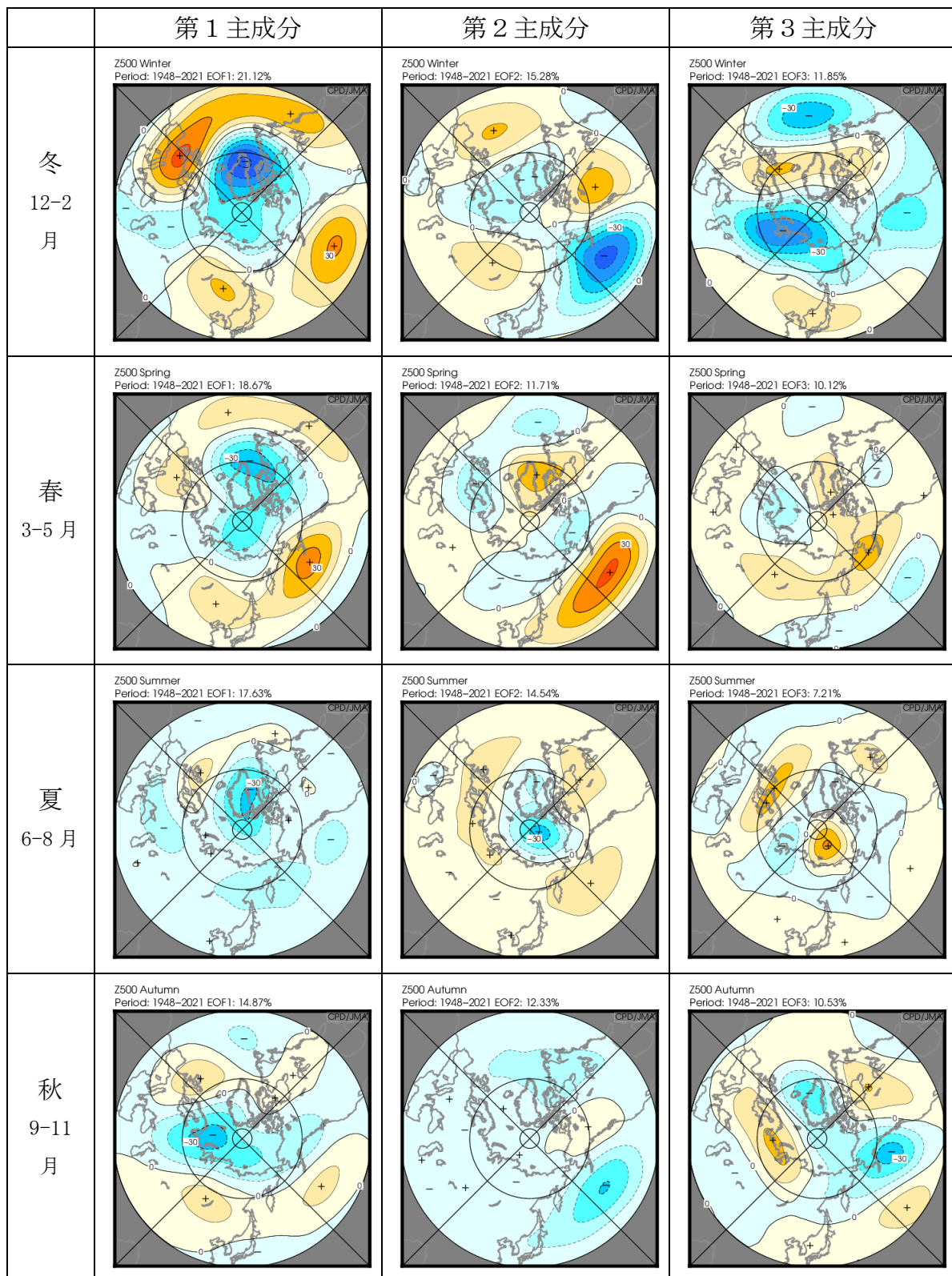


図 JRA-3Q解析値（期間：1948～2021年）より求めた各季節の500hPa高度主成分の空間パターン